

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	常備消防車両更新事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急の充実					
施策の内容	1 消防力の充実					
H28決算額	46,467千円	財源内訳	国県支出金 14,204千円	地方債 27,100千円	その他	一般財源 5,163千円

【事業の概要】

消防車両を2台購入し、老朽化した消防車両の更新を行いました。

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
消防ポンプ自動車	43,442	荒川沖消防署配置 平成11年度購入車両の更新
査察広報車	3,025	土浦消防署南分署配置 平成9年度購入車両の更新
合 計	46,467	



消防ポンプ自動車



査察広報車

【事業の成果】

消防力の基幹である消防車両の計画的な更新整備をすることにより、消防体制が充実し、安心・安全なまちづくりに寄与することができました。

款	教育費	項	教育総務費				
事業名	情報教育関係事業						
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実						
施策の内容	6 社会の変化に適切に対応できる教育の推進						
H28決算額	11,075千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	11,075千円

【事業の概要】

平成25年度から電子黒板等を小学校及び中学校の全普通教室及び理科教室に計画的に配置し、情報教育の向上を図ります。

[平成28年度電子黒板等設置校]

小学校5校（上東小，上西小，神立小，菅谷小，真鍋小（追加分）） 27台
 中学校2校（五中，二中（追加分）） 49台
 合計76台

[平成28年度事業費]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
使用料及び賃借料	11,075	小学校5校，中学校2校の電子黒板機器賃借

[ICTを活用した授業風景]



下高津小学校（算数）



土浦第二小学校（理科）



土浦小学校（国語）



土浦第一中学校（社会）

【事業の成果】

電子黒板等を小学校及び中学校の全普通教室及び理科教室に配置することで、ICTの効果的な活用により、児童生徒の興味関心を高め、知識の定着に寄与しました。

また、WEB会議システムの活用により、各学校の教職員の意思疎通や共通理解が図れるとともに、交流授業では児童生徒が互いに教え合い、学び合う交流活動を実施しました。

款	教育費	項	教育総務費			
事業名	「小中一貫教育」推進事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	3 教育内容の充実					
H28決算額	32,754千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 32,754千円

【事業の概要】

小中学校を貫く学びの連続性の中で、学校が主体的に創意工夫に努め、児童生徒の発達段階を考慮しながら、心豊かに個性を発揮できるたくましい子どもの育成を図ります。

◎小中一貫非常勤講師の配置

教職員の連携を補助し、小中一貫教育活動に関する計画・協議の充実を図るため、平成26年度より各中学校に非常勤講師を配置しています。

◎ICT機器を活用した学習指導

デジタル教科書の導入により、電子黒板などICT機器を効果的に活用し、児童生徒の理解を深めるために、映像や音声、シミュレーションの機能を生かした学習指導を小中一貫の学習方法として推進しています。また、児童生徒による学校間テレビ会議やプレゼンテーションなどの活動を通して、思考力・判断力・表現力を育む授業を実践しています。さらに、情報教育サポーターを配置し、児童生徒の機器操作を支援するとともに、教員のスキルアップに努めています。

◎小中学生の交流活動

小中一貫交流会を実施し、小学生が中学校に集まり他校の小学生や中学生と交流を深めました。

区分	事業費	概要
報酬	16,348	小中一貫教育推進非常勤講師（市内8中学校 8人）
委託料	4,525	情報教育サポーター委託料
使用料及び賃借料	775	小中交流会バス借り上げ料
備品購入費	11,067	デジタル教科書購入
その他	39	
合計	32,754	



TV会議システムを使用した
小中学生と高校生の交流学習



小学生と中学生による
地区音楽会での合同演奏



中学生による小学生への
読み聞かせ

【事業の成果】

各中学校区において、それぞれの学区の特色を生かした取組を推進することができました。平成30年度の小中一貫教育完全実施に向けて、児童生徒の交流活動や教職員の合同研修などを充実させ、小中一貫教育運営協議会や小中一貫推進主任会を中心に、全市的な研究、実践を進めていきます。

款	教育費	項	小学校費			
事業名	小学校施設非構造部材耐震化事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	10 学校施設の整備・充実					
H28決算額	53,018千円	財源内訳	国県支出金 14,265千円	地方債 38,600千円	その他	一般財源 153千円

【事業の概要】

東日本大震災の被害状況を受け、児童の安全確保のため、屋内運動場の非構造部材について落下防止対策を講じます。

平成28年度は、小学校2校の耐震化工事を実施しました。

[事業内容]

◎対象校

(単位：階・㎡・棟)

学校名	構造	階数	延床面積	棟数
大岩田小学校	鉄骨造	2	957	1
真鍋小学校	鉄筋コンクリート造	2	865	1

◎工事内容

体育器具・照明器具等の落下防止、窓ガラスの飛散防止等

[平成28年度事業費内訳]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	14,354	実施設計、工事監理
工事請負費	38,664	非構造部材耐震化工事
合計	53,018	



大岩田小工事前



大岩田小工事完成後



照明器具 落下防止取付前



照明器具 落下防止取付後

【事業の成果】

工事の完了により、耐震性能の向上につながり、児童の安心安全な学校生活に寄与するとともに、学習環境の向上を図ることができました。

款	教育費	項	教育総務費／小学校費／中学校費
---	-----	---	-----------------

事業名	新治地区小中一貫教育学校整備事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	1.1 小中学校の適正配置					
H28決算額	174,234千円	財源内訳	国県支出金 48,569千円	地方債 100,400千円	その他	一般財源 25,265千円

【事業の概要】

藤沢小・斗利出小・山ノ荘小の3小学校を1校に統合し、新治中学校敷地内に校舎を増築するとともに既存校舎や屋内運動場を活用して、施設一体型の小中一貫校を整備します。
平成28年度は、前年度の実施設計に基づき校舎増築工事及び既存校舎改修工事に着手しました。

[事業内容]

- 校舎増築工事 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3階建 3,518㎡
普通教室 8教室，職員室，保健室，図書室，新治ホール等
工事進捗率 47%
- 既存校舎改修工事 鉄筋コンクリート造 3階建 3,827㎡
普通教室 14教室，特別教室（音楽室，理科室，調理室等）8教室等
工事進捗率 10%

[平成28年度事業費内訳]

区分	事業費	H29へ繰越	概要
需用費	110	0	引越用消耗品購入
役務費	1,101	0	建築確認申請手数料，物品移設手数料
委託料	0	25,079	監理業務委託
工事請負費	173,023	1,132,376	校舎増築工事，既存校舎改修工事
合計	174,234	1,157,455	



新治中学校 工事状況



完成予想図

【事業の成果】

平成27年度に行った基本・実施設計に基づき、平成28年度は、校舎増築工事及び既存校舎改修工事に着手しました。

今後は、平成30年4月の開校を目指し、校舎増築工事・既存校舎及び屋内運動場改修工事・グラウンド整備工事等を進め、市内初の施設一体型小中一貫校として良好な学習環境の確保を図ります。

款	教育費	項	社会教育費			
事業名	「大畑のからかさ万灯」記録調査事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	4 文化・芸術活動の振興					
施策の内容	3 文化財の保護と活用					
H28決算額	2,202千円	財源内訳	国県支出金 1,100千円	地方債	その他	一般財源 1,102千円

【事業の概要】

「大畑のからかさ万灯」は、五穀豊穡、家内安全と雨乞いの祈願をこめて、江戸時代中期頃から行なわれてきた花火行事で、毎年8月15日に大畑地区の鷲神社で開催されています。

記録作成の措置を講ずべき無形の民俗文化財として、国選択無形民俗文化財に認定されていることから、平成27年度に文化庁が記録映像を制作し、平成28年度には、本市が主体となり、調査報告書を作成しました。

○これまでの経緯

- 昭和37年 「からかさ万灯」が茨城県指定文化財に指定
- 昭和57年 「大畑のからかさ万灯」の名称で国選択無形民俗文化財に認定
- 平成27年 文化庁の「変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業」の対象となり、記録映像を制作した。
- 平成28年 「大畑のからかさ万灯」総合調査報告書を500部刊行



「からかさ万灯」の花火



「からかさ万灯」準備の様子

【事業の成果】

地域に残る伝統的な民俗行事である「大畑のからかさ万灯」について、調査報告書の形でまとめることができました。調査報告書は、研究機関及び「大畑のからかさ万灯」開催関係者に配布します。一連の行事を記録として残しておくことで、貴重な無形民俗文化財を後世に永く伝えていくことができます。

款	教育費	項	社会教育費				
事業名	武者塚古墳出土品保存台製作事業						
施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
施策名	4 文化・芸術活動の振興						
施策の内容	4 埋蔵文化財の保護と活用						
H28決算額	2,224千円	財源内訳	国県支出金 1,094千円	地方債	その他 1,130千円	一般財源	

【事業の概要】

平成26年度に国の重要文化財に指定された「茨城県武者塚古墳出土品」について、貴重な文化遺産として後世のために長く保存し、本市の教育普及事業の更なる充実を図ることを目的としています。

本事業は、平成28年度から30年までの3年間で、出土品の中でさびやひびなどが発生し、保存処理が必要なものについて適正な保存処理を行います。また、より安定的な状態での保存ができる保存台を製作します。

- 28年度 銀带状金具・鉄製大刀・銅装三累環頭大刀・鉄鏃の保存処理、
勾玉類の保存台製作など
- 29年度 銀带状金具・銀装圭頭大刀・銅製の杓（鉄柄銅杓）の保存台製作など
- 30年度 銅装三累環頭大刀・みずらなどの保存台製作



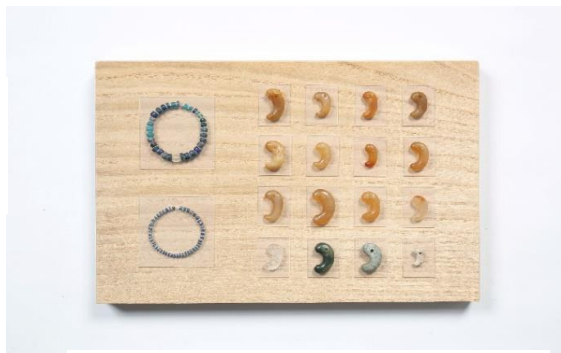
銀带状金具



鉄製大刀



銅装三累環頭大刀



ガラス小玉 切子玉 勾玉保存台

【事業の成果】

劣化進行している出土品の保存処理を行ったことで、劣化の進行を遅らせることができ、より長期的な保存が可能となりました。また、保存台の製作により安定した状態での保管と、出土品を一同に見ることが出来るようになりました。

引き続き、残りの出土品の保存台製作を進めていきます。

款	教育費	項	社会教育費				
事業名	重要資料公開推進事業／特別展・企画展事業						
施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
施策名	4 文化・芸術活動の振興						
施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実						
H28決算額	6,377千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 6,377千円	

【事業の概要】

特別展や企画展、テーマ展などの展示を通して、本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を広く公開・発信します。国宝や重要文化財など貴重な資料を身近に感じる機会をすることで、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、地域の文化向上に寄与します。

◎重要資料公開推進事業（博物館）

- ・第37回特別展「まちのしるし—しるしが語る土浦の近代—」

平成28年3月19日（土）～5月8日（日）

入館者数：6,770人

関連事業：記念講演会、講座、見学会、展示案内会

- ・第38回特別展「土浦八景—よみがえる情景へのまなざし—」

平成29年3月18日（土）～5月7日（日）

入館者数：6,477人

関連事業：記念講演会、講座、見学会、展示案内会

商標などの「しるし」からみた近代土浦の街の賑わいと、中国から日本に伝わった八景文化を通して、江戸時代の土浦八景を中心に地域への定着と継承について紹介しました。

◎特別展・企画展事業（上高津貝塚ふるさと歴史の広場）

- ・第19回企画展「みんなの知らない植物の世界—適材適所の考古学—」

平成28年10月15日（土）～12月4日（日）

入館者数：4,647人

関連事業：記念講演会、体験講座、展示案内会

人は、太古の昔より、身近にある植物を利用して生活してきました。縄文時代から江戸時代にかけての人と植物の関わりについて、最新の調査研究成果を踏まえ紹介しました。



特別展「まちのしるし」



特別展「土浦八景」



企画展「みんなの知らない植物の世界」

【事業の成果】

特別展や企画展を通して、博物館や上高津貝塚への理解とともに、地域文化への理解を深めることができました。また、関連事業として実施した講演会や講座等の参加者も多く、郷土学習の機会充実と普及を図ることができました。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	新図書館施設整備事業／美術品展示室整備事業
-----	-----------------------

施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり
-------	---

施策名	2 自己実現を最大限尊重する生涯学習の振興, 4 文化・芸術活動の振興
-----	-------------------------------------

施策の内容	4 新図書館の整備・推進, 2 文化施設等の整備充実
-------	----------------------------

H28決算額	3,001,170千円	財源内訳	国県支出金 358,238千円	地方債 2,485,900千円	その他 30,105千円	一般財源 126,927千円
--------	-------------	------	--------------------	--------------------	-----------------	-------------------

【事業の概要】

土浦駅北北地区市街地再開発事業の複合施設として、市民の生涯学習活動や芸術文化活動の拠点となるとともに、街や人を元気にする交流拠点として、集客やにぎわいを創出する、新しい図書館及び本市初となる美術品展示室（ギャラリー）の整備を、平成25年度～平成29年度までの5か年で、進めています。

[平成25～27年度事業費] (単位：千円)

区分	事業費(図)	事業費(ギ)	事業費計	概要
委託料	67,499	3,949	71,448	基本設計, 実施設計 外
繰出金	613,917	143,843	757,760	駅北特別会計への繰出金
合計	681,416	147,792	829,208	

[平成27年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費(図)	事業費(ギ)	事業費計	概要
繰出金	207,176	41,445	248,621	駅北特別会計への繰出金
合計	207,176	41,445	248,621	

[平成28年度事業費] (単位：千円)

区分	事業費(図)	事業費(ギ)	事業費計	概要
工事請負費	239,523	77,371	316,894	図書館・ギャラリー内装工事
委託料	2,797	859	3,656	図書館・ギャラリー工事監理
備品購入等	0	4,999	4,999	自動化書庫, 書架等家具 外
繰出金	2,062,126	364,874	2,427,000	駅北特別会計への繰出金
合計	2,304,446	448,103	2,752,549	

[平成29年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費(図)	事業費(ギ)	事業費計	概要
工事請負費	353,352	108,056	461,408	図書館・ギャラリー内装工事
委託料	6,636	1,952	8,588	図書館・ギャラリー工事監理
備品購入費	440,640	0	440,640	自動化書庫, 書架等家具 外
繰出金	6,883	3,921	10,804	駅北特別会計への繰出金
合計	807,511	113,929	921,440	



図書館完成イメージ



ギャラリー完成イメージ

【事業の成果】

新図書館においては、市民の生涯学習活動のより一層の拡大・充実の実現を図り、ギャラリーにおいては、市民の文化芸術活動の発表の場として、市民が芸術文化に触れ合う機会を提供することにより、多くの市民の交流やにぎわいを生み出し、中心市街地の活性化が期待されます。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	水郷プール再整備事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	5 すべての市民が親しむスポーツ・レクリエーションの振興					
施策の内容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実					
H28決算額	50,256千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
					45,502千円	4,754千円

【事業の概要】

東日本大震災により被災し休業していた水郷プールを再整備し、平成28年7月16日に6年ぶりにリニューアルオープンしました。

プールの開業期間は7月16日から8月31日で、安心・安全にプールを運営するため管理運営業務を委託しました。

◎開場状況

区 分	日 数
開場予定日数	47
休場日数	6
開場日数	41

※「開場日数」中、4日間は悪天候等のため開場時間を短縮しました。



流水プールの様子

◎利用者数

(単位：人)

区 分	利用者数
一般	26,401
小・中学生	21,311
幼児	6,041
3歳以下	5,182
合 計	58,935

◎使用料収入 45,502 千円

◎事業費

(単位：千円)

区 分	事業費
管理委託料	49,981
機械警備委託料	104
建物総合損害共済分担金	171
合 計	50,256

◎秋季ちびっ子プール無料開放

9月1日から10月31日までの月曜日を除く52日間において、子供達の水遊び場としてちびっ子プールを開放しました。

期間中、989人が親水公園として利用しました。



親水公園として開放したちびっ子プール

【事業の成果】

台風の影響等により例年より休場日数が多かったものの、市民や地域住民待望のリニューアルオープンであったことから多くの方が訪れ、幼児から大人までの夏季のレクリエーション活動の充実に貢献しました。

また、プール開業期間終了後の秋季に、水郷公園を訪れる市民の水遊び場として無料でちびっ子プールを開放することにより、利便性の向上を図るとともに、開業期間以外における施設の利活用に努めました。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	川口運動公園野球場観覧席、夜間照明灯及び関連施設整備事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	5 すべての市民が親しむスポーツ・レクリエーションの振興					
施策の内容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実					
H28決算額	719,185千円	財源内訳	国県支出金 94,249千円	地方債 468,500千円	その他	一般財源 156,436千円

【事業の概要】

老朽化が著しく狭い野球場の観覧席を新設することに加え、平成31年度茨城国体の軟式野球開催に合わせて夜間照明灯を整備しています。

平成27年度に工事着手して以来、平成29年度までの継続事業で事業を進めており、平成28年度は、観覧席の躯体及びナイター照明設備の本格的な工事を行うなど、順調に進捗しました。

◎施設の概要

- 整備場所：土浦市川口二丁目地内
- 工期：平成27年9月～平成29年5月（既存内野観覧席撤去含む。）
- 延床面積：8,294.41㎡
- 建築面積：4,853.54㎡
- 高さ：19.35m（メインスタンド高）
- 構造等：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て（1階関連諸室、2階観覧席）
- 収容人数：約13,000人（内野約10,000人、外野約3,000人）
- 夜間照明：照明灯4基設置

◎事業費

(単位：千円)

区分	全体事業費	平成27年度からの繰越分	平成28年度分	平成29年度への繰越分
解体工事費	51,138			
野球場ナイター照明設備工事	383,400		299,052	
野球場改築建築主体工事	1,432,080		362,794	453,492
野球場改築機械設備工事	135,972	756	32,633	40,791
野球場改築電気設備工事	117,720			94,176
工事監理業務委託	31,828	212	5,623	11,246
周辺整備工事	44,820		17,920	26,900
その他（事務費）	27,938		195	
合計	2,224,896	968	718,217	626,605

◎今後のスケジュール

- 平成27年度～29年度
 - ・建築主体工事
 - ・機械設備工事
 - ・電気設備工事
 - ・ナイター照明設備工事
- 平成28年度～29年度
 - ・周辺整備工事
- 平成29年度
 - ・7月1日供用開始



川口運動公園野球場 平成28年度末の様子

【事業の成果】

平成29年7月1日の供用開始に向けて、ナイター照明設備工事・建築主体工事・電気設備工事・機械設備工事を進め、ナイター照明設備及び観覧席の躯体工事はほぼ完成しました。

また、野球場の工事の進捗に合わせ、周辺の雨水排水工事等の周辺整備工事を開始しました。

款	教育費	項	保健体育費			
事業名	学校給食センター再整備事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	8 学校給食の充実					
H28決算額	8,178千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 8,178千円

【事業の概要】

既存の2つの学校給食センターを統合して1センター方式で整備するため、建設場所を決定し、土地測量を実施しました。また、厨房機器業者を選定するプロポーザルを実施し、平成28・29年度の2か年で基本・実施設計を実施しています。

[平成28年度事業費]

(単位：千円)

区分	事業費	翌年度繰越分	概要
旅費	35	0	先進地視察研究旅費
委託料	3,347	6,697	再整備基本・実施設計・地質調査委託料
	4,796	0	土地測量委託料
合計	8,178	6,697	



第1学校給食センター
(築46年)



第2学校給食センター
(築41年)

◎新学校給食センター建設場所：土浦市藤沢地内（旧新治庁舎跡地）

新学校給食センター概要	
提供給食数	12,000食/日
献立形態	3献立制
建築面積	約4,000㎡
敷地面積	約6,800㎡



旧新治庁舎

◎事業スケジュール

平成28年度 建設用地決定、基本・実施設計（継続事業）、土地測量
平成29年度 基本・実施設計（継続事業）、旧新治庁舎解体工事、記念碑・記念樹等移設工事
平成30年度 建築工事（継続事業）
平成31年度 建築工事（継続事業）
平成32年9月 供用開始

【事業の成果】

新学校給食センターと同規模（12,000食程度）の長野市第四学校給食センターを視察し、施設設備や厨房機器、プロポーザルの実施内容等を学び、参考とすることができました。また、新学校給食センターの建設場所を旧新治庁舎跡地に決定し、土地測量を実施しました。あわせて、プロポーザルによって決定した厨房機器業者とともに、コンパクトで効率的な施設整備となるよう平成28年度、29年度の継続事業として基本・実施設計等を実施しています。